

2022年度

✕ 教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
TEL: 0743-74-1111(代)
文責: 原井葉子

☆ 「えん・くろす」がスタート!

昨年度、幼稚園の再編に係る方向性では、なばた幼稚園と俵口幼稚園の存続とともに、園と保護者、地域コミュニティが連携、協働してモデル事業を展開していくことが示されました。そこで、今年度、事業について協議、運営していく場として、両園に、地域園協働本部「えん・くろす」を開設。こどもたちの成長につながる体験活動や保護者のニーズに応えるプログラムの実現、園を活用し地域活性化を進める事業などを進めていきます。

「えん・くろす」の、えん→園・縁で、幼稚園が人と人がクロスする場所になれば、そして、園と何かを掛け合わせて面白いことができれば…園×○○=!!

そんな思いが込められています。



また、メンバーの方が、地域の協力は無限大∞、その力が交流・クロスし、子どもたちの心に幸せの蝶が羽ばたく様子を表現したロゴマークと、サブキャッチコピー「しあわせつくるようちえん」

を合わせて作成してくださいました。

5月20日は俵口幼稚園で、23日にはなばた幼稚園で、第1回「えん・くろす」会議が開催され、今後具体的にどのような活動を進めていくのか、また、活動をどのように保護者や地域に周知していくのかなどについて、様々な提案や計画が話し合われました。

市教育委員会も、「えん・くろす」の活動を積極的にバックアップするとともに、これらの取組を他の市立幼稚園と共有し、全ての園で、地域と共に特色ある園づくりを進めていきたいと考えています。

☆ 「のびのびほっとルーム」を開設します

学校に登校しづらい、教室で一斉授業をうけることにしんどさを感じている小学生の児童を対象に、自分らしく安心して過ごせる居場所、ワクワクする体験や活動ができる場所「のびのびほっとルーム」を、開設します。

コロナ禍の影響で、全国的に不登校児童生徒が増加傾向にある中、本市においても小学校の不登校が増えています。各校では、別室登校やオンラインの授業配信など、本人や保護者と相談をしながら、支援、指導を行っていますが、学校とは別の居場所を望む声も多く、市教育委員会では、小学生を対象にした適応指導教室の開設を進めてきました。

生駒南第二小学校内で、6月21日からスタートする「のびのびほっとルーム」では、
1. 温かさやワクワク感を大切にしたい空間で、一人一人が自分のペースで学べる環境
2. 学習アプリや授業配信、仮想教室など、学びや居場所づくりにつながるICTの活用
3. もっと知りたい、学びたい、好きなことを見つける体験活動

など、教室らしくない教室で、多様な学び方を選択でき、子どもたちが「いきたい、つながりたい」場所になることを目指します。

近日中に、入室相談窓口を開設し、案内チラシを配布する予定です。

【報道資料】

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000029643.html>

☆ 「note」で教育情報を発信します

市教育委員会は、学校教育の取組を市民の皆様幅広く知っていただけるように、WEBメディア「note」を活用して様々な情報を発信します。「note」では、文字制限がなく、動画や写真で分かりやすくリアルな学校の様子をお伝えでき、テーマごとに興味のある記事を見つけて読むこともできます。

日々、授業づくりにかかる教員の思い、子どもたちの学びのプロセス、プロジェクトの背景など、取材を通して、生駒市の学校の挑戦、生の声をお届けします。

誰でもパソコンやスマートフォンから閲覧できますので、ぜひ、ご覧ください。

【生駒市教育委員会の公式note】

<https://ikomacity-edu.note.jp/>

【報道資料】

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000029693.html>